

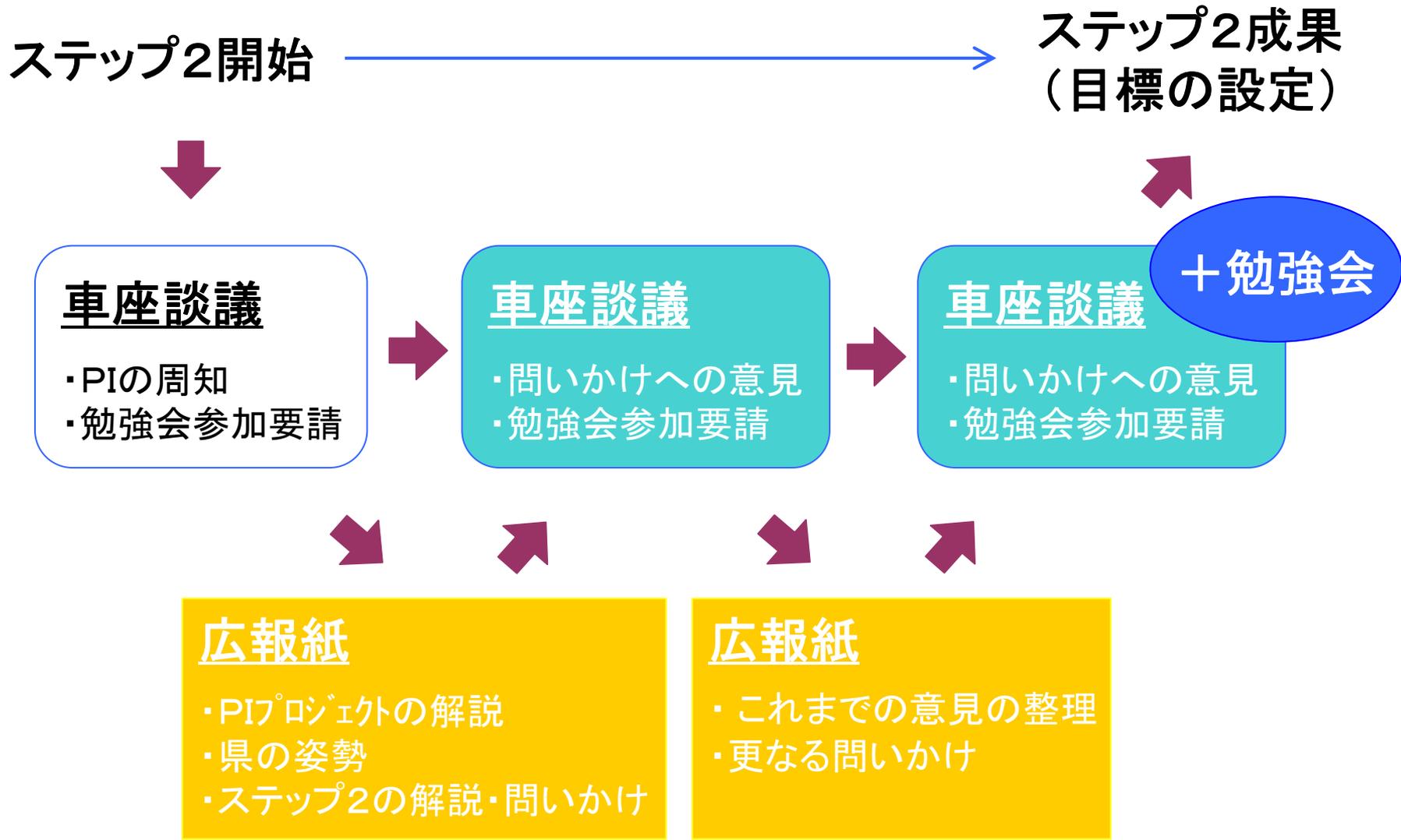
沼津高架P Iプロジェクト



P I 活動状況報告

【第7回P I 委員会】

ステップ2の進め方



第6回PI委員会以降の取組み

日付	取組み
9月21日	車座談議(NPO法人海風47)
9月27日	車座談議(東駿河湾まちづくり研究会)
10月2日	車座談議(三区JR貨物駅対策協議会)
10月4日	意見とりまとめ冊子発行
10月4日、5日	オープンハウス(イーラde)
10月9日	車座談議(カフェ檸檬) (沼津駅の鉄道高架を推進する有志の会)
10月21日	沼津市長選挙告示日
10月25日	事業者ヒアリング(バス事業者)
10月28日	沼津市長選挙投票日
10月30日	事業者ヒアリング(バス事業者)
11月15日	事業者ヒアリング(大型店舗)
11月16日	事業者ヒアリング(タクシー事業者)

日付	取組み
11月26日	車座談議(沼津商工会議所)
11月28日	NL4号発行
11月28日	車座談議(沼津駅周辺の事業者の方々)
12月4日	オープンハウス (マックスバリュ沼津原町西店)
12月11日	車座談議(沼津市商工会原支所)
12月13日	事業者ヒアリング(トラック事業者)
12月15日	車座談議(原地区の方々)
12月19日	事業者ヒアリング(大型店舗)
1月7日	車座談議((社)沼津青年会議所)
1月12日	NL5号発行
1月12日	勉強会(沼津駅周辺地区)第1回
1月21日、22日	オープンハウス(イシバシプラザ)

車座談議

車座談議の実施状況

■実施回数: 10回 (9/21から1/27まで延べ107人)

■実施団体: 鉄道高架事業に関心の高い団体、商工関係者など

	日時	団体名	出席者
1	9月21日(金)19:00~21:30	NPO法人海風47	13人
2	9月27日(木)18:30~20:15	東駿河湾まちづくり研究会	10人
3	10月2日(火)19:00~20:50	三区JR貨物駅対策協議会	10人
4	10月9日(火)10:00~12:00	カフェ檸檬	8人
5	10月9日(火)15:00~17:00	沼津駅の鉄道高架を推進する有志の会	7人
6	11月26日(月)10:00~11:00	沼津商工会議所	7人
7	11月28日(水)18:30~20:30	沼津駅周辺の事業者の方々	10人
8	12月11日(火)19:30~21:00	沼津市商工会	15人
9	12月15日(土)19:00~21:00	原地区の方々	23人
10	1月7日(月)18:00~19:00	(社)沼津青年会議所	4人

車座談議の実施状況

《車座談議の主な内容》

■事務局からの情報提供

- 沼津駅周辺総合整備事業について
- 沼津駅付近鉄道高架事業について
- 沼津高架PIプロジェクトの取組みについて

■意見交換・質疑応答

- 沼津駅周辺や原地区について
 - 心配だと思ふことや改善したいこと
 - どんな地域にしたいか
 - そのためにはどんな取組みが必要か

■アンケート

- 車座談議の進め方について



車座談議／NPO法人海風47



日時：平成24年9月21日(金)

19:00～21:30

参加者：NPO法人海風47

会員 13名

意見交換

沼津駅周辺や原地区について

- 1) 心配だと思ふことや改善したいこと
- 2) どんな地域にしたいか

将来、どんなことを避けるべきか

- 3) そのためにはどんな取組みが必要か

車座談議／東駿河湾まちづくり研究会



日時：平成24年9月27日(木)

18:00～20:15

参加者：東駿河湾まちづくり研究会
会員 10名

意見交換

沼津駅周辺や原地区について

- 1) 心配だと思ふことや改善したいこと
- 2) どんな地域にしたいか

将来、どんなことを避けるべきか

- 3) そのためにはどんな取組みが必要か

車座談議／カフェ檸檬



日時：平成24年10月9日(火)

10:00～12:00

参加者：カフェ檸檬の常連でまちづくりに
関心のある人 8名

意見交換

沼津駅周辺や原地区について

0) 沼津駅周辺総合整備事業、鉄道高架事業についての質疑

1) 心配だと思うことや改善したいこと

2) どんな地域にしたいか

将来、どんなことを避けるべきか

3) そのためにはどんな取組みが必要か

車座談議／沼津駅の高架を推進する有志の会



日時：平成24年10月9日(火)

15:00～17:00

参加者：沼津駅の高架を推進する有志の会
会員7名

実施内容

- ・PIの取組みについて
- ・意見取りまとめ冊子について
- ・意見交換

車座談議／沼津駅周辺の商業者の方々



日時：平成24年11月28日(水)

18:30～20:30

参加者：沼津駅周辺の商業者の方々 10名

意見交換

沼津駅周辺や原地区について

1) 心配だと思うことや改善したいこと

2) どんな地域にしたいか

将来、どんなことを避けるべきか

3) そのためにはどんな取組みが必要か

車座談議／沼津市商工会原支所



日時：平成24年12月11日(火)

19:30～21:00

参加者：沼津市商工会原支所 15名

意見交換

原・浮島地区のまちづくりについて

- 1) 心配だと思うことや改善したいこと
- 2) どんな地域にしたいか

将来、どんなことを避けるべきか

- 3) そのためにはどんな取組みが必要か

車座談議／原地区の方々

日時：平成24年12月15日(土)

19:00～21:00



参加者：原地区にお住まいの方々
(原貨物駅に土地を売らない地権者の
会、郷土を愛する会の方々等)

23名

意見交換

- ・原地区の将来像について
- ・健康文化タウン構想について

車座談議／原地区の方々

原西部地区(原新田・本松 様)

を「健康文化タウン」に!



《私たちの提案》

- 医療や福祉のセンター
- 若者が学び働ける場所
- 野菜や果物の地産地消の市場や食堂
- 津波や地震などからの避難センター
- 親子で楽しめる市民公園 など

詳しくは、右の「構想」を御覧下さい。

原貨物駅に土地を売らない地権者の会

(会長 殿岡利治)

郷土を愛する会(会長 西原正道)

※裏面に報道記事あり→

平成23年9月5日

(仮称)「ふじのくに健康文化タウン」基本構想
～原西部地区の地力を活かした町づくり～

原貨物駅に土地を売らない地権者の会(会長 殿岡利治)・郷土を愛する会(会長 西原正道)

大型公共施設、大型プロジェクトであっても、時代の要請、県民の要望に即応している限り必ずしも「ハコモノ」「税金の無駄使い」という批判を受けることはない。県立静岡がんセンターがその例である。現在、日本は加速度的に少子高齢化社会に移行しつつあり、高齢者への医療介護福祉政策が緊急の課題となっている。同時に、地方都市では雇用機会の創出、地域の活性化と振興、人口減少の歯止めが課題となっている。

原西部地区は、北に雄大な富士山、愛鷹山、浮島が原、南に千本松原と駿河湾、伊豆の山々、東に箱根連山、西に南アルプスを眺望出来る、空気が清澄で素晴らしい「ふじのくに」の理想郷である。また当地区は、かつて桃の花園であり、沼津御用邸の台所に野菜や果物を供給した農園であり、新鮮な農産物を提供できる地である。沼津市を「健康文化都市」として再生する可能性を秘めた地区である。

国道1号線、JR東海道線の沿線に位置し、新東名高速道路、駿河湾環状道路とのアクセスが良好な場所である。現在、静岡県が推進している「ファルマバレー計画」の一環として、県立静岡がんセンターを先行例とし、中高層の県立長寿医療センターを核とする健康文化ゾーンを形成することは、時代の要請に応じ、静岡東部全域、さらには首都圏の高齢者の需要に応じることができる。労働集約的な施設であることから雇用機会を創出し、各種医療福祉専門学校、医療関連産業により、若者が学び働く活気ある場所にもなる。

長寿医療センターは、老人医療や介護の他、多目的複合施設として、種々の機能を果たすことができる。老人医療福祉の研究機関、一般患者も受け入れるクリニック・モール、リハビリテーションやトレーニングジムとして、最上階は展望レストランプラザとして「ふじのくに」の海の幸・山の幸を提供し、屋上を展望公園として一般来訪者を受け入れる。展望公園の屋根をソーラーパネルとすることにより電気の内産自消のモデルとなる。そして、地震津波などの自然災害時には、中高層ビルであることから、地域住民の避難ステーションにもなり得る。

この長寿医療センターの周辺に、健康を増進する自然公園や市民農園、果樹園、スポーツ施設を配置することによって、施設利用者や地元住民のみならず、広く、来訪者、一般の県民市民がリフレッシュする憩いの場所となる。さらに、既存の浮島が原自然公園(富士市)やピオトップ、千本松原、興国寺城址、帯笑園、白風の里、寺院などの地域資源と有機的に連携することが出来れば、さらに、多様で豊かな「健康文化ゾーン」としての機能を持つことになる。

以上のような目的で、原西部地区の地力を「ふじのくに健康文化タウン」として「ふじのくに理想郷」の創造に資するように活用していただくのであれば、地主としても納得でき、祖先に対しても申し訳が立ちます。-その場合、行政に積極的に協力させていただきたく存じます。

広 報 紙

沼津駅前地下道への掲示

沼津市が管理する沼津駅南の地下道ショーケースに、
広報紙の掲示、オープンハウスの告知と開催報告、
意見まとめ冊子の発行報告など、PIの情報を広く市民に提供



オープンハウス

オープンハウスの実施状況

Step2-①（平成24年4月）

Step2-②（平成24年6月）

Step2-③（平成24年8月）

Step2-④（平成24年10月）

場所 イーラde 1階 イベントスペース

日時 10月4日(木)、5日(金)午前10時00分～午後8時00分

Step2-⑤（平成24年12月）

場所 マックスバリュエクスプレス沼津原町西店

日時 12月4日(火) 午前10時00分～午後4時00分

Step2-⑥（平成25年1月）

場所 イシバシプラザ 地階イベントスペース

日時 1月21日(月)、22日(火)午前10時00分～午後4時00分

オープンハウスの実施状況

《実施場所》



オープンハウスの実施状況/目的

《Step2-④》

- 沼津高架PIプロジェクトの趣旨周知
- 意見まとめ冊子〈ステップ2 中間報告〉の配布及び周知
- 意見まとめ冊子の不足意見の補てん(特にテーマ①広域レベル)

《Step2-⑤》

- 沼津高架PIプロジェクトの趣旨周知
- 意見まとめ冊子の不足意見の補てん(特にテーマ③地区レベル(原地区))

《Step2-⑥》

- 沼津高架PIプロジェクトの認知度把握
- 勉強会〈沼津駅周辺地区〉第1回の開催概要報告
- 意見まとめ冊子〈ステップ2中間報告更新版〉の配布及び周知
- 地域づくりの目標に関する意見の聴取

オープンハウスの実施状況/掲出パネル

《PI実施計画》

Public Involvement Project PIプロジェクト

沼津高架PIプロジェクトとは

沼津高架PIプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅移転など様々な論点について、市民の皆さんと徹底したコミュニケーションを図りながらオープンに議論します。

【背景】

- 駅周辺の活性化
 - ・少子高齢化、過疎化
 - ・東日本震災の発生
- 市民等との対話やニーズ把握の不足
- 行政の進め方に異なる不便や不満

【取組み】

- 考え得る案を予断なく提示
 - ・鉄道高架化
 - ・駅周辺開発
 - ・貨物駅移転
- 市民等との対話を促し、オープンに議論
- 透明で公正な進め方

【成果】

- 沼津駅付近鉄道高架事業等の方向付け
- 市民ニーズの把握、反映
- 課題の明確化

意思決定

沼津高架PIプロジェクト

Public Involvement Project PIプロジェクト

沼津高架PIプロジェクト・PI実施計画

平成24年4月6日、PI実施計画を策定しました。
まずは目指すべき目標を明確にし、一つ一つ確認しながら進めていきます。

●沼津高架PIプロジェクトのプロセス

H23		H24			
Step 1 PI実施計画の策定	Step 2 目標の設定	Step 3 代替案(論点ごと)と評価項目の設定	Step 4 代替案(パッケージ)と評価項目の設定	Step 5 代替案の比較評価	Step 6 代替案の選定
PI実施計画を策定しました。	鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体の移動先地区の活性化や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。	目指すべき目標を達成するための複数の代替案を予断なく検討し、比較評価の視点を設定します。 まず議論となるテーマごとに代替案を構想し、次にそれらを組み合わせ、相互に関連づけたい代替案を検討します。		代替案を比較評価します。	意思決定にあたり推奨する案を決定するとともにその前期を整理します。

沼津高架PIプロジェクト

Public Involvement Project PIプロジェクト

PI実施計画 [Step 2 目標の設定]

鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。

テーマ① 広域レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道高架事業の効果や影響について議論し、計画の意義を確認します。 ⇒ 沼津市や東置郡地域への効果や財政面への影響など
テーマ② 地区レベル (沼津駅周辺)	<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津駅周辺地区におけるこれまでの計画などを確認します。 ● これまでの計画への懸念、期待を整理します。
テーマ③ 地区レベル (原地区)	<ul style="list-style-type: none"> ● 原地区の良いところや課題を確認します。 ● これまでの計画への懸念、期待を整理します。

目標の設定

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況/掲出パネル

《Step2-④:意見まとめ冊子》

沼津高架PIプロジェクト

皆さんからの意見まとめ 《ステップ2 中間報告》

～沼津高架について知える上で～

地域の将来像をどう考えますか？

さらに議論を進めていくために、この冊子を作成しました。

駅前では、沼津駅が近隣高層商業について改めて方向付けをするため、沼津高架PIプロジェクトを立ち上げました。沼津高架PIプロジェクトでは、市民や関係者の皆さんの意見を広く聴き、オープンに議論しています。

現在は、平成24年4月に策定したP（実施計画（参考資料1））に基づきステップ2（目標の設定）を進めており、オープンハウスや新年度説明会、種別説明会など、「関係の地域にはどんな種類の駅があるのか」「どのような施設を自給するのか」について、広く皆さんの意見をお聴きしています。

この冊子は、ステップ2において、これまで（平成24年4月6日～9月9日）に皆さんから頂いた意見を中間報告として整理し、まとめました。引き続き議論を進めるため、多くの皆さんにこの冊子をご覧いただき、さらにご意見を寄せさせていただきますことをご期待しています。

ぜひ、あなたのご意見も反映させてください！



平成24年10月

沼津高架PIプロジェクトPI運営事務局

皆さんからの意見まとめ《中間報告》～広域レベルの地域づくりについて～

(1)地域像

- 沼津市は将来的なまちづくりや財政のビジョンを持ち、それを示してほしい。
- 沼津市の特性や、それぞれの地区の特性を活かしたまちづくりを目指すことが必要だと思う。
- 温暖な気候を生かし、住みやすいまちを目指したい。
- 若者が集まり働く場所があるまちにしたい。
- 高齢者や子供が暮らしやすいまちにしたい。
- 多様な年代が暮らしやすいまちにしたい。
- 歴史や自然を生かしたまちを目指してほしい。
- これまでの歴史・文化だけでなく、新しい視点でまちづくりを考えることも必要だと思う。
- 港などの資源を活用した観光の目玉をつくり、観光まちづくりを目指してほしい。

(2)広域的都市拠点

- 沼津市は三島市や富士市に遅れを取っている。東部の拠点として開発を進めてほしい。
- 三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。
- 既に東部の拠点は三島駅に移っているので、三島駅を高架化してほしい。

(3)まちのコンパクト化

- 駅周辺に都市機能を集積させて利便性の高いまちにしたい。
- まちなかでの自転車の利便性を向上してほしい。
- 歩いて暮らせるまちにしたい。

(4)ソフト施策

- ハード事業を行っただけでは活性化しない。合わせてソフト施策が必要だと思う。
- 中心市街地の資源の活用、港との連携、土産物の開発による商業活性化などにより賑わいを取り戻したい。
- 観光ルートの検討や観光資源のPRを積極的に行い、国内外の観光客を呼び込んでほしい。

沼津高架PIプロジェクト

皆さんからの意見まとめ《中間報告》～広域レベルの成長戦略について～

(1)地域資源

- 他のまちにはない地域資源があるはずだが活かされていない。
- 豊かな歴史・文化や、富士山、沼津アルプス、沼津港、千本浜などの恵まれた地域資源があることを活かし、積極的にPRして活性化させたい。
- 農作物や海などの名産品を地域資源として活かしてほしい。
- 新東名高速道路サービスエリアなどを活かして活性化につなげてほしい。

(2)広域連携

- 三島市や浜東部地域との連携が必要ではないか。

(3)新たな産業

- 企業を誘致し、雇用を促進したい。

(4)人口減少・少子高齢社会への対応

- 企業を誘致し雇用を促進するなど、人口を増加させることが必要ではないか。
- 少子高齢社会対策として、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。
- 若い世代が少なくなった。商業施設や大学誘致、雇用の場を創出するなど、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要ではないか。
- 高齢者が楽しめる施設を整備するなど、高齢者を重視したまちづくりを進めてほしい。

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況/掲出パネル

《 Step2-⑤ : 原地区航空写真 》



オープンハウスの実施状況/掲出パネル

《Step2-⑥:意見まとめ冊子・目標ができるまで》

皆さんからの意見を
まとめた冊子を
更新しました



この冊子は、PI プロジェクトのステップ2において実施した取り組みにて、皆さんから頂いた意見を中間報告として整理し、まとめたものです。

コミュニケーションの方法	意見数
オープンハウス	847意見
車座談議	748意見
PI委員会傍聴者アンケート	87意見
ホームページ、メール、FAX、郵送など	
計 1,682意見	



引き続き議論を深めるため、多くの皆さんにこの冊子をご覧いただき、さらにご意見お寄せください。



STEP2の目標ができるまで



①皆さんからオープンハウス、車座談議などでご意見を聴きます。



②ご意見を關心ごとにまとめました。

③ご意見を「どのような地域を目指すのか」に注目して整理しています。

<地域づくりの目標に関する整理>

今はココ!

地域づくりの目標



④勉強会などの議論を通じ、具体化した目標を定めよう。

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況/掲出パネル

《Step2-⑥: 勉強会〈沼津駅周辺地区〉第1回の概要》

沼津 高架 Public Involvement Project
PIプロジェクト

勉強会を開催しました

勉強会とは、鉄道高架化やまちづくりに関心のある様々な団体からの推薦者によって深く議論をする会です。

勉強会〈沼津駅周辺〉
第1回:平成25年1月12日(土)

- 1 勉強会の進め方について**
 - ・勉強会の目的や進め方への質問・意見・提案
- 2 地域づくりの目標について**
 - ・地域づくりの目標に関する整理の具体化、詳細化

原地区での開催も予定しています。



各グループでの検討



グループ検討の発表

沼津高架PIプロジェクト

沼津 高架 Public Involvement Project
PIプロジェクト

勉強会での意見概要

～ 地域づくりの目標に関する整理 ～

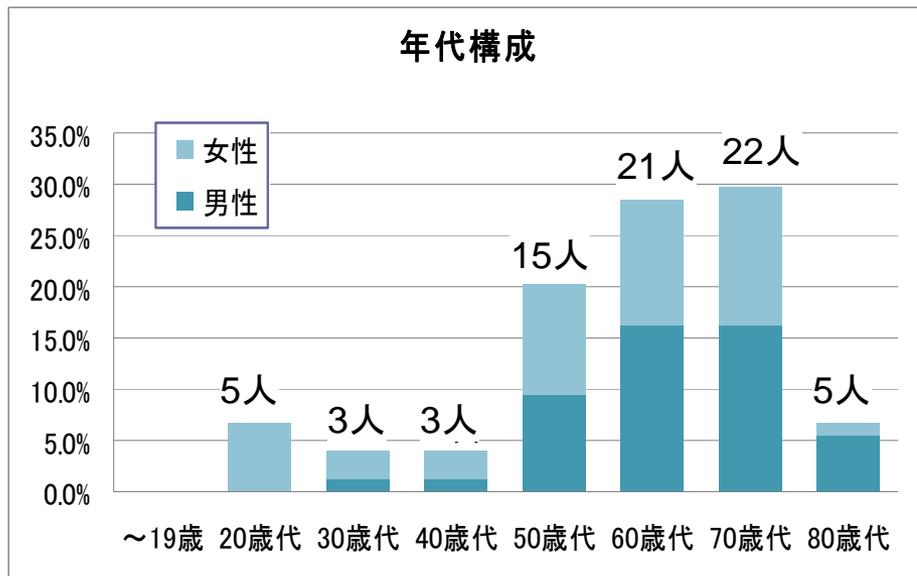
- 1 誰もが暮らしやすく（暮らし）**
 - ・子育て世代や高齢者等のターゲットを具体的に捉えた目標設定が必要
 - ・住民にとって魅力ある地域づくりを進めることで定住人口を増やすことが大切
 - ・コンパクトな範囲に生活のための施設や緑を充実すべき
 - ・区画整理区域内の現状に配慮すべき
- 2 多くの人が集う街に（交流）**
 - ・沼津やその周辺の観光資源やキラメッセなどの新たな施設等を活かした具体的な戦略が必要
 - ・県東部地域を視野に入れて交流を盛んにすべき
 - ・観光客だけでなく定住者を増やすことにつながるような魅力が必要
- 3 持続的な経済活動と雇用機会（産業・雇用）**
 - ・車社会に対応した中心市街地の商業のあり方への指摘
 - ・物販だけでなく新たな商業を活性化し、沼津の特色づくりをしたい
- 4 外も中も移動しやすい（交通）**
 - ・橋の安全性への不安や災害時の交通課題への懸念
- 5 地震や津波にも強い（防災）**
 - ・地震や津波発生時の避難に対する不安



沼津高架PIプロジェクト

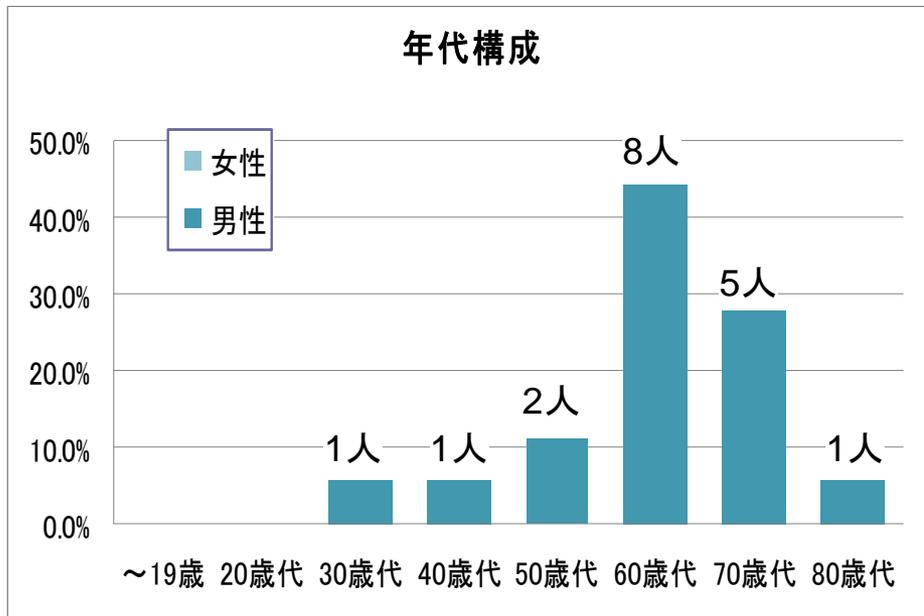
オープンハウス(イーラde)の実施結果

1. 実施時間 19時間
2. 聴き取り調査人数 74人
 - (1) 開催日別 10月4日(木):37人
10月5日(金):37人
 - (2) 男女別 男性:37人、女性:37人
 - (3) 年代別構成比



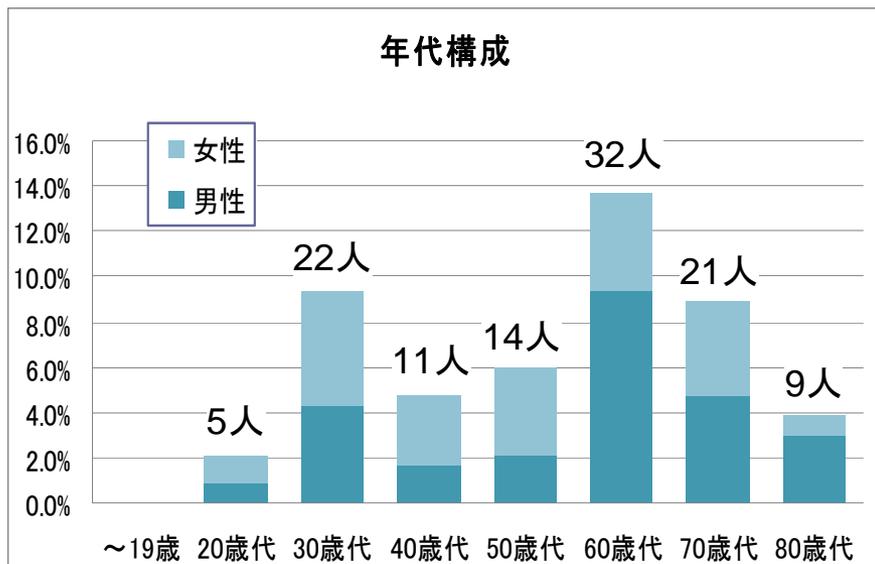
オープンハウス(原地区)の実施結果

1. 実施時間 6時間
2. 聴き取り調査人数 18人
 - (1) 開催日別 12月4日(火):18人
 - (2) 男女別 男性:18人
 - (3) 年代別構成比



オープンハウス(イシバシプラザ)の実施結果

1. 実施時間 19時間
2. 聴き取り調査人数 114人
 - (1) 開催日別 1月21日(月):69人
1月22日(火):45人
 - (2) 男女別 男性:61人 女性:53人
 - (3) 年代別構成比



事業者ヒアリングの状況

事業者ヒアリングの実施状況

■実施回数:6回(10/25~12/15)

■実施事業者:バス事業者2社、タクシー事業者1社、トラック事業者1社、大型店舗2社

日時	団体名
10月25日(木)10:00~11:15	バス事業者
10月30日(火)14:00~15:15	バス事業者
11月15日(木)14:00~15:00	大型店舗
11月16日(金)14:30~15:30	タクシー事業者
12月13日(木)14:00~15:00	トラック事業者
12月19日(水)13:30~14:00	大型店舗

■バス、タクシー、トラック事業者に対する主なヒアリング内容

- ・沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方
- ・沼津市内で事業展開する上での課題と、その解決に向けて望むこと

■商業者に対する主なヒアリング内容

- ・沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方
- ・沼津駅周辺に必要な機能、施設について

事業者ヒアリングの状況／バス事業者

- バス事業の現状
- バス事業の営業上の課題と、その解決に向けて望むこと
- 鉄道高架事業に対する期待や懸念



事業者ヒアリングの状況／大型店舗事業者

- 商圈や来客者の交通手段等について
- 今の沼津駅周辺の地域での課題や心配なこと
- 沼津駅周辺に必要な機能・施設について
- 沼津駅付近鉄道高架事業について



事業者ヒアリングの状況

／タクシー業事業者・トラック業事業者

- タクシー事業の営業上の課題と、その解決に向けて望むこと
- トラック事業を展開する上での課題と、その解決に向けて望むこと
- 鉄道高架事業などに対する期待や懸念



勉強会の状況

勉強会＜沼津駅周辺地区＞第1回

日時：平成25年1月12日(土) 13:30～16:30

参加者：駅周辺の各団体 計23名

- ・勉強会の進め方について
勉強会の目的や進め方への
質問・意見・提案
- ・地域づくりの目標について
地域づくりの目標に関する整理の
具体化、詳細化
(詳細は後述)



勉強会<沼津駅周辺地区>第1回

《グループ討議の様子》



これまでの取組（総括）

ステップ2におけるこれまでのP I 活動実績

勉強会

駅周辺: 1回(3時間)
原地区: 0回(2月上旬に予定)

オープンハウス

開催日数: 19日(139時間)
開催場所: 10箇所
聴取り票回収数: 961人

車座談議

開催回数: 30回(45時間15分)
開催団体: 延べ33団体
参加人数: 延べ263名

事業者ヒアリング等

開催回数: 12社

JR東海、JR貨物、
通運事業者2社、港湾事業者1社
バス事業者3社、大型店舗2社
タクシー業事業者、トラック業事業者

広報紙

ニューズレター発行: 2~5号

その他

メール、HPなど38件